

令和3年司法試験合格体験記

2020年度修了（既修コース）川口 美悠

16期既修の川口美悠と申します。岡山大学法学部出身で、岡山大学法科大学院修了後、1回目の司法試験で合格いたしました。

私は、司法試験の勉強を始めるのが遅く、ロースクール入学時には「授業についていけるのだろうか」「ちゃんと進級できるのだろうか」と不安ばかりでした。しかし、先生方の丁寧なご指導、資料室の方々のサポート、先輩や同期、後輩の励ましのおかげで何とか修了することができ、合格することができました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

ロースクールでの生活を振り返って大切だと思ったことは、感謝の気持ちを持ち続けることです。長く、過酷なロースクール生活において、時には自暴自棄になり、勉強への意欲が減退してしまうこともありました。しかし、そのような時は、いつも指導してくださっている先生方の顔を思い浮かべ、恩に報いるためにも頑張る勉強しなければならない、とモチベーションを保っていました。先輩に答案をみていただくときも、貴重な時間を割いて添削してもらっていることを忘れず、同じ指摘をされないように努力していました。共用スペースや炊事場が知らぬ間にきれいになっているのを見ると、資料室の方々が手入れをしてくださったことに気づき、自分たちが快適な環境で勉強ができているのは当たり前のことではないのだと再認識しました。そのたびに、もっと勉強を頑張ろうという気持ちになりました。そして、周りの友人が就職する中、勉強に専念できる環境を作ってくれ、常に司法試験受験を応援してくれている家族を思うと、絶対に合格するんだという気持ちを保つことができました。

在学生の皆さんも、司法試験に向けて勉強する中で、壁にぶつかることもあると思います。そんなときは、自分を支えてくださっている方々のことを思い返してみてください。きっと乗り越えられるはずです。応援しています。